

令和6年度 第3回瀬戸内市地域公共交通会議 会議録要旨

開催日時：令和7年2月18日（火）15時～16時

開催場所：瀬戸内市民図書館 つどいの部屋

出席委員：大東会長（ノートルダム清心女子大学 人間生活学部）

平本委員（両備ホールディングス（株））

河田委員【代理：峯下氏】（牛窓タクシー）

坂本委員【代理：重田氏】（（有）ネイチャーワールド自動車）

福崎委員（瀬戸内市商工会）

中尾委員（瀬戸内市老人クラブ連合会）

栃折委員【代理：高田氏】（西日本旅客鉄道(株)中国統括本部岡山支社）

三枝委員【代理：小原氏】（一般社団法人瀬戸内市緑の村公社）

吉田委員（中国運輸局岡山運輸支局）

藤原委員【代理：伊賀氏】（瀬戸内警察署）

出射委員【代理：河上氏】（備前市市長公室交通政策課）

國廣委員（岡山県県民生活部県民生活交通課）

出席委員 16名

委任状提出委員 7名

事務局：総合政策部 平井（部長）

企画振興課 服部（課長）、鈴木（主事）、高原（主事）

1. 開会

2. 会長あいさつ

- ・市営バスの利用者は増加傾向が続いている。
- ・令和7年3月に予定されているJRのダイヤ改正にあわせ、市営バスにおいても利便性を高めるためのダイヤ改正(案)をまとめている。
- ・岡山市のバス路線再編計画の中に位置づけられている「牛窓(神崎・南回り線)西大寺線」については、前回の会議でいただいた意見をもとに事務局が関係市と調整を進めてきた。前回に引き続き、ご意見をいただきたい。

3. 報告事項

報告事項1 「市営バス事業について」を事務局から説明

(1) 利用者数の推移

- ① 1便当たりの利用者数(令和3年度～令和6年度)
- ② 「虫明・長島愛生園線」の月別利用者数(令和4年4月～令和7年1月)
- ③ 「牛窓中央線」の月別利用者数(令和4年10月～令和7年1月)

(2) 市営バス車両(中型バス)のラッピングについて

【質疑・意見等】

- ・市営バスについて、利用者の声として届いているものを教えてほしい。
- 多様なご意見をいただくが「運賃が安く利用しやすい」、「定期券の仕組みが便利」、「令和4年度に導入した車両は綺麗で便利」といった意見などが届いている。
- 「虫明・長島愛生園線」については、利用者数が順調に伸びている一方で、超過定員への不安の声も沿線住民等から寄せられている。そのため、利用者数の状況等について定期的に関係者と情報共有を行いながら、安心して利用いただくための調整を行っている。これらの意見を真摯に受け止め、可能な限りの調整を続けていく。

4. 協議事項

協議事項1 「岡山市のバス路線再編について」を事務局から説明

【質疑・意見等】

- ・路線再編後に「牛窓(神崎・南回り)西大寺線」を運行する車両の案として、前回会議ではワゴン車(定員:8名)があがっていたが、ポンチョ(定員:30名程度)を導入する方針になったのは、瀬戸内市から岡山市へ提案したということか。
- そのとおりである。前回の公共交通会議において、ワゴン車で運行する場合、通勤・通学で利用される時間帯は超過定員が発生する可能性があるなどの懸念が多く聞かれたため、余裕を持った定員であるポンチョでの運行を瀬戸内市から提案した。

- ・「利便増進実施計画」の内容について、前回の会議における説明からどのような変更が生じることになるのか。
- 抜粋資料「岡山市地域公共交通利便増進実施計画【第1弾】」に、路線再編後の導入車両として「乗用車」の記述があるが、これが「小型バス」や「ポンチョ」といった記述に変更される。
- ・路線再編による車両の小型化や「利便増進実施計画」の策定は、どのくらいのスパンの話になってくるのか。
- 目先の検討事項として岡山市と調整を行っているのは、岡山市と瀬戸内市に路線がまたがる「牛窓（神崎・南回り）西大寺線」における車両の小型化である。「利便増進実施計画」は、岡山市・玉野市・瀬戸内市の関係3市連名で策定するため、計画策定については長いスパンで考えていくこととなる。今回の会議で方針をまとめたい部分は、車両の小型化についてである。

協議事項2 瀬戸内市営バスダイヤ改正【案】について を事務局から説明

【質疑・意見等】

- ・住民からの意見やJRのダイヤ改正にあわせた形のダイヤ改正ということか。
- その通りである。

5. その他（事務局より）

- ・邑久駅前工事の進捗が当初の予定より遅れており、工期が令和7年度まで繰越となる。しばらくご迷惑をおかけするが、市営バス・タクシーの乗り入れなど、様々な部分でご理解、ご協力をお願いしたい。
- ・牛窓支所駐車場で行っている駐輪場工事については、駐輪場利用者の安全性を考慮した設計のもと工事を行っている。また、駐輪場工事完了後には、アスファルトに誘導表示を施し、安全性を高める取り組みを行う予定である。次回の会議では、駐輪場の完成報告を行う。
- ・次回の公共交通会議は令和7年6月頃を予定。

6. 閉会

- ・今年度も瀬戸内市の公共交通の発展に向けて、重要な議論ができたことに感謝している。議論いただいた内容をもとに、地域の交通サービス向上に努めていく。引き続きご支援、ご協力をお願いしたい。

以上